

ミハル・ペコウチェック (Michal Pechoucek)

最高技術責任者 (CTO)

ミハル・ペコウチェックはGen Digital Inc. (以下、Gen)の最高技術責任者 (CTO)を務めています。2022年9月に行われたノートンライフロックとアバストの合併をもってGenにて同ポジションに就任しました。ペコウチェックは、セキュリティを向上しデジタル上での安全を提供するという同社の技術ビジョンを推進する、主要テクノロジー、イノベーション、研究開発の各チームを率いており、脅威研究所、ビッグデータ、イノベーション チームの業務をサポートしています。また、人工知能、機械学習、サイバーセキュリティの分野における同社の科学研究も担当します。



ペコウチェックはアバストの最高技術責任者として2019年に同社に入社しました。それ以前はプラハのチェコ工科大学 (CTU) に20年以上、電気工学部の教授として勤務し、在籍中の2001年には[人工知能センター](#)を設立しました。ペコウチェック自身も引き続き教鞭を執っており、これまでに400冊を超える本を執筆、数々の革新的なAIアプリケーションを生み出し、コンピューターサイエンス分野の研究にも貢献してきました。

学術的なキャリアを追求する一方、ペコウチェックはテクノロジー分野の複数のスタートアップを共同起業しています。サイバーセキュリティ企業のCognitive Security (2013年にシスコが買収)、航空機の自律飛行制御に特化したAgentFly Technologies、産業用アプリケーション向けのAI開発を行うBlindspot Solutions (2017年にAdastra Groupが買収)がその例です。シスコシステムズのAIおよびコンピューターセキュリティ研究開発センターで指導、シスコセキュリティのCTO付き戦略担当を務めた経験もあります。さらに、サイバーセキュリティを専門とするベンチャーキャピタルファーム、Evolution Equity Partnersのベンチャーパートナーでもあります。また、prg.ai initiativeの共同創業者として、プラハをAIの世界的なスーパーハブにすることを目指しています。複数のAIスタートアップの取締役会にも加わり、初期投資家としてチェコのAIエコシステムを支援しています。



ペコウチェックは、[エジンバラ大学](#)を卒業し、その後プラハのCTUで人工知能の博士号を取得しました。さらに、南カリフォルニア大学、エジンバラ大学、ニューヨーク州立大学ビンガムトン校、カルガリー大学で客員教授としての勤務経験もあります。ペコチェックは、チェコの日刊新聞であるDenik Nや複数の教育系NPOの取締役会にも所属しており、People in Need FoundationやMemory of Nationの長年のスポンサーです。